

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	StepUP時田通町教室		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		~ 2024年11月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		~ 2024年11月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公開トレーニングを行い、保護者様や別事業所の職員の方に広く見ていただき、児童の日頃の様子や成長を感じて頂いている。公開トレーニングで第三者の方々にも事業所の取り組みの評価も頂いている。	年に1度11月に1週間の公開トレーニングを行い、地域などに開けた事業所づくりを意識している。また、児童の社会性の向上を図り、家族参加型のイベントなどを開催し家族交流の機会や家族支援にも繋げている。	年に1度の公開トレーニングは、引き続き行い、新規の方が多く入会したタイミングでも追加で行うなど、回数や開催時期についても検討していく。また、専用のアンケート表なども作成しながら第三者の方の評価も頂きながらより良い事業所を目指していく。
2	保育士、社会福祉士、児童指導員(教員免許取得済)が常時勤務できていることもあり、多方面から様々なアプローチが可能になっている。	児童との関わりで遊ぶ、真似ぶから始め少しずつ人との関わり、児童との関わりをしながら、玩具の貸し借りなどスムーズに出来るように間に入りながらコミュニケーションをとっている。	引き続き未就学児童には可能な限り1:1のマンツーマンで職員が付けるような体制づくりや、職員研修をこまめに行いながら、支援の強化につなげていく。
3	SSTに注力した集団療育を行い、その中で運動トレーニングを提供している。多くの運動能力を伸ばせる為、また児童が楽しく通所出来る為に、毎日毎時間固定化しない活動プログラムを提供している。その中で1度も大きな事故や怪我が発生していない。	活動プログラムが固定化されないように常勤職員を中心にみんなで相談共有しながら、児童の特性や児童の年齢に応じプログラムを立案している。視覚支援としてマットの色分けやイラストでの指示、集団療育の中での1:1の個別指導を行い、児童のペースに合わせて療育を行っている。	その日、その時間にいる児童の特性や年齢に合った活動プログラムを職員全体で考え意見を出し合いながら共有し、児童同士の交流が出来るようなトレーニングや支援を行っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	平日の放課後対応時間割と、土曜日や長期休暇の休校日対応時間割で運動学習、コミュニケーションのトレーニングを行っている関係上なかなか地域の児童と交流する時間がとれない。	近隣の商店街や、夏祭りなど地域の行儀事にイベントや少しでも時間を作って、子ども達が参加できる機会を作りたい。
2			
3			